

第 48 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会 会長挨拶

本日、ここに、第 48 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、本日の大会には、全国各地から大変多くの皆様にご参集いただき、お陰様で、このように盛大に本大会を開催できました。心から厚く御礼申し上げます。

また、本大会には、公務ご多忙のところ、厚生労働省 労働基準局 安全衛生部長 宮野甚一 様、内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 三浦知雄 様、警察庁 九州管区警察局 広域調整部長 本橋克広 様、そして、沖縄県知事 仲井眞弘多 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜りましたことを誠に光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

さらに、本日は、労働災害の防止に顕著な功績をあげられました事業場、団体、個人の方々等への表彰を行うこととしております。受賞されます皆様方には、これまでのたゆまぬご努力、ご精進に対し深く敬意を表しますとともに、心からお慶びを申し上げます。

ところで、陸上貨物運送事業におけるここ数年の労働災害の状況をみますと、死亡災害については、増減を繰り返しながらも大きく減少が図られてきています。一方、死傷災害については、平成 22 年、23 年と 2 年連続で増加をしております。

本年、平成 24 年は、死亡災害が前年同期に比べ大きく増加するとともに、死傷災害も前年同期に比べ、増加しており、3 年連続での増加が懸念される状況にあります。

このため、本年 8 月には厚生労働省労働基準局長名で、昨年厚生労働省が発出した「荷役通達」を踏まえ、荷主等と連携した荷役作業における安全対策の一層の推進についての要請があったところであります。

さらに、9 月には厚生労働省安全衛生部長名で「労働災害減少に向けた緊急要請」があったところであります。

我々は、このような状況を緊急事態としてとらえ、本部、支部、会員事業者が一丸となり、「職場の安全衛生自主点検表」等を活用した、緊急の総点検の実施などを行っているところであります。

取組に当たっては、死傷災害については、その約七割が荷役運搬関係の作業によるものであり、その約七割が荷主庭先において発生していることから、荷主等と連携した荷役作業における安全対策の一層の推移を図っているところであります。

また、これから年末・年始を迎え、死亡・重大災害を含む労働災害が多発することが懸念されますことから、今後関係行政機関、関係団体のご指導、ご協力を得ながら、「年末・年始労働災害防止強調運動」をなお一層、強力に推進していくこととしております。

陸運業は、引き続き厳しい経営環境のもとにあります。我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核であります。このような機能を、今後とも十分に果たしていく上でも、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは、必要不可欠であります。

本日、ご参集の皆様方におかれましては、本大会を契機に、これまで以上に充実した実効ある労働災害防止活動を展開されますようお願い申し上げる次第であります。

結びに、本大会開催に大変ご尽力をいただきました陸災防沖縄県支部の皆様をはじめ関係者の方々に厚く御礼申し上げますとともに、お集まりの皆様方の事業場の益々のご繁栄と労働災害ゼロを心から祈念し、私の挨拶といたします。

平成 24 年 11 月 8 日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長

川合正矩